



# 禁煙宣言

Declaration of Opposition to Smoking



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

<http://www.perio.jp>

# 禁煙宣言

平成16年5月21日採択

喫煙は喫煙者のみならず、間接的に非喫煙者の全身の健康に対しても、悪影響を及ぼすことが実証されている。また、喫煙は歯周病における環境面からみた最大の危険因子であり、歯周病の発症・進行や治療効果の低下に大きく関与している。さらに、歯周病自体が様々な全身疾患の危険因子となることから、喫煙の直接的作用に加え、歯周病を通しての間接的作用によっても全身疾患のリスクが高められることが示されている。

喫煙は「病気の原因の中で予防できる最大かつ単一のもの」(WHO)であり、喫煙対策は国民全体の健康を増進するうえで欠くことができないものである。よって、我々学会員が口腔のみならず全身的健康のためにも喫煙問題に取り組むことは使命であると考える。

以上のことから、特定非営利活動法人日本歯周病学会は、「タバコと歯周病のない世界」を目指し、積極的な喫煙対策ならびに禁煙活動を行うことをここに宣言する。

# - 活動方針 -

## 活動方針 1

本学会は「喫煙と歯周病」に関連する研究を推進する。

- ・得られた知見は講演会やメディアを通じ積極的に社会へ還元する。
- ・学術誌や一般誌における掲載を推進する。

## 活動方針 2

本学会は、医療機関の禁煙指導を推進し、市民の禁煙を支援する。

- ・禁煙支援に関する研修会などにより、禁煙指導を行うことができる医療従事者を育成する。
- ・国内外の医学会や保健医療団体と連携して、市中の禁煙運動を推進する。

## 活動方針 3

本学会は、学生教育における喫煙問題の充実を求める。

- ・歯科関連育成機関における教育カリキュラムに、歯周病と喫煙の関係や禁煙支援方法の項目を加えるよう働きかける。
- ・歯科医療従事者の試験において、喫煙関連の設問を必須とするよう働きかける。

## 活動方針 4

本学会員は非喫煙者であることを目指す。

- ・会員は非喫煙者であることを目指し、会員が所属する保健医療機関や教育施設へは全館禁煙を働きかける。
- ・本学会が開催する会議において、会場施設・敷地内の完全禁煙を目指す。

### 特定非営利活動法人 日本歯周病学会

理事長 / 鴨井 久一 (日本歯科大学歯学部 歯周病学講座)

禁煙推進委員会

委員長 / 吉江 弘正 (新潟大学大学院 歯周診断・再建学分野)

委員 / 栗石 聰 (大阪大学大学院 予防歯科学教室)

埴岡 隆 (福岡歯科大学 口腔保健学講座)

沼部 幸博 (日本歯科大学歯学部 歯周病学講座)

青山 旬 (国立公衆衛生院 疫学部)

大森みさき (日本歯科大学新潟歯学部 総合診療科)

石井 正敏 (新潟市 石井歯科医院)

発行 / 特定非営利活動法人 日本歯周病学会

後援 / ファイザー株式会社

## — 市民の皆さんへ —

### 喫煙者は歯周病にかかりやすい!

喫煙者は非喫煙者に比べ2～8倍の危険度で歯周病にかかりやすくなります。さらに、喫煙による不快な口臭、味覚の鈍麻、歯肉の黒色化や歯面の着色など口腔内環境は悪化します。

### 喫煙者は歯周病の症状に気づきにくい!

タバコに含まれている化学物質が喫煙者の歯肉出血を減少させたり、歯肉表面を硬くすることで歯周病の症状が隠されてしまいます。

### 喫煙者では歯周病の治りが悪い!

歯周病の進行に応じて様々な治療が行われています。しかしながら、どのような歯周治療に対しても喫煙者では治りが悪いことが報告されています。

### 歯周病は全身疾患のリスクを高める!

歯周病は糖尿病、心筋梗塞や低体重児出産、早産などの発症と関係します。つまり、喫煙している歯周病患者では、これらの病気にかかるリスクがいっそう高まります。

### タバコをやめましょう!

タバコをやめれば歯周病を含め様々な病気のリスクが著しく低下し、さらに周囲に対する悪影響も減ります。歯周病だけのためではなく、全身的健康のためにも1日も早い禁煙をおすすめします。

